

2023年度 事業報告

NPO 法人犬山あんきにくらそう会

1. はじめに

「犬山あんきにくらそう会」は1999年に設立して25年目となり、第27回通常総会を開催する運びとなりました。「今井あんきの家」が新しい施設に移転をして丸2年が過ぎ、この施設での運営状況や問題点がはっきりと見えてきた状況を報告する総会となります。

NPOは、困っている人に手を差し伸べることを理念としています。NPO活動分野の保健、医療、福祉の分野と子どもの健全育成の分野で活動することを目的に出発しました。2000(平成12)年4月に開始した介護保険法の指定事業者になることによって、「介護の社会化を地域で実現すること」をめざし、24年間活動してきました。

会員の皆さんの協力を得て2016年に認定NPOを取得し、次の有効期間は2026(令和8)年6月までです。認定NPO維持のためには100名以上の会員維持が必要です。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

新しい施設へ移転当初からグループホームは満室(2セクション18名)となっています。小規模多機能型居宅介護「宅老所今井あんきの家」では、定員29名に対しずっと19名程度でこの2年推移してきました。なかなか定員が埋まらない状況が続いています。昨年度まではスタッフの人員不足もありましたが、今年は5月から特定技能外国人の制度を利用し、ミャンマーから介護福祉士を目指す若者を4人採用し、人員的には充足していますが、小規模多機能型居宅介護の利用者は充足しない状況となっています。毎月新たな契約者はいるのですが、同じ数だけ施設入所や入院又はお亡くなりになる方もおり、契約者数としては横ばいの状況が続いています。

また、この10月から、泊まって、通って、訪問して、と3つの役割を一つにした小規模多機能の機能にさらに訪問看護をプラスした看護小規模多機能型居宅介護に移行しています。名前も「宅老所今井あんきの家」から「あんきのカンタキ」に変更となっています。なるべく長く自宅で過ごしたい、できれば「看取り」も住みなれた家族と共に、そんな願いをかなえる支援場所です。昨今は、医療の発達により病気を抱えながらも、自宅で過ごす人も多くなってきています。少し古いですが、2017年のデータでは8割の人が自宅で最期を迎えたいと答えています。現実には病院や施設でお亡くなりになる人が圧倒的に多くなっています。最後まで自宅で過ごしたいという人たちの願いを支えられるよう、看護小規模多機能型居宅介護「あんきのカンタキ」を皆さんに知ってもらえるよう営業努力を続けています。

実際に日本では、お亡くなりになる 65 歳以上の人は2015年には約100万人だったのですが、2040 年頃までに 1.6 倍(160 万人/年)になるという統計も出ています。必然的に自宅でお亡くなりになるお年寄りは今後増えていくと予想されています。この20年でグループホームは終の棲家として世間でも定着してきました。看護小規模多機能型居宅介護により、自宅が本当の終の棲家となれるように支援したいと考えます。

今年度も経営としては厳しい状況が続いています。移転後の銀行からの融資の返済や増税など、今井地区で運営していたころとは違う厳しさがある上に、物価の上昇、光熱費の増額、収益は横ばいにも関わらず人件費の増額と、運営の厳しさに直面しています。それでも、良い介護をするべく、スタッフを大切に、新しいスタッフを育て、やりがいのある仕事と感じてもらえるように常に向上心を持って施設運営に挑んできました。

契約者の確保ができれば、安定経営はできると考えています。新しい介護保険メニュー看護小規模多機能型居宅介護「あんきのカンタキ」を地域に広め、支えてくれるスタッフの意見を聴きながら、地域に必要とされる事業所になれるよう努力しているところです。

2. 事業実施の概略

ア、本部事業について

(1) 会員

年度	'99 年	'00 年	'01 年	'02 年	'03 年	'04 年	'04 年	'05 年	'06 年	'07 年
正会員	69 人	84 人	77 人	69 人	84 人	106 人	92 人	116 人	111 人	115 人
賛助会員	39 人	58 人	45 人	46 人	48 人	62 人	69 人	65 人	57 人	59 人
利用会員					1 人	4 人	4 人	9 人	7 人	0 人
計	108 人	142 人	122 人	115 人	133 人	172 人	165 人	190 人	175 人	174 人

年度	'08 年	'09 年	'10 年	'11 年	'12 年	'13 年	'14 年	'15 年	'16 年	'17 年
正会員	129 人	138 人	135 人	129 人	73 人	56 人	53 人	51 人	50 人	52 人
賛助会員	55 人	53 人	49 人	49 人	106 人	125 人	126 人	116 人	130 人	134 人
利用会員	0 人	0 人	0 人	1 人	2 人	1 人	2 人	5 人	2 人	0 人
計	184 人	191 人	184 人	179 人	181 人	182 人	181 人	172 人	182 人	186 人

年度	'18 年	'19 年	'20 年	'21 年	'22 年	'23 年				
正会員	50 人	50 人	53 人	50 人	49 人	48 人				
賛助会員	136 人	142 人	134 人	155 人	166 人	170 人				
利用会員	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人				
計	186 人	192 人	187 人	205 人	215 人	218 人				

認定NPOを維持する為には、賛助会員を含め 3,000 円以上の寄付口数が年平均100人以上必要です。今年度は149人でした。

2023年度の新規会員は21人、退会は18人でした。寄付者は16人でした。

(2) 広報活動

① 「あんきだより」は4回発行しました。

第105号 2023年12月発行

第26回総会を無事に開催できました

一般財団法人白寿会から助成していただきました

- 第106号 2024年3月発行
介護保険改定2024
BCP(業務継続計画)訓練を行います
自転車を探しています
- 第107号 2024年7月発行
「あんきのカンタキ」 看護小規模多機能型居宅介護
への変更
第27回通常総会のご案内
新人スタッフ紹介(拡大版)
- 第108号 2024年9月発行
第27回通常総会開催にむけて
塔野地夏祭り
配食サービスが好評です
あんきのカンタキ(看護小規模多機能型居宅介護)

② ホームページ

ホームページが新しくなり、ご利用に関するご案内や空き状況が見やすくなりました。トップページからブログやInstagramも簡単に閲覧できます。「あんきだより」も発行後にアップしています。

③ ブログ・Instagram

2011年11月に開設したブログが、14年目を迎えました。

「今井あんきの家」での日常を織り交ぜながら、老人介護について綴っています。“今井あんきの家 ブログ”で検索、若しくはホームページのトップページから見られるようになりました。2019年4月に開設したInstagramも5年半が経ち、今井あんきの家の日常をお伝えする事ができました。「コメント」に感想やご意見をお願いします。

④ グループホーム&宅老所「井戸端ごよみ」

あんきの家でのご利用者の様子を中心としたスナップ写真とともに、季節ごとに(年4回)ご家族にお届けし、イベントや施設内の様子などを伝えることができました。今後も施設の雰囲気が伝わるような季刊誌を作成していきます。

(3) ボランティア活動

永年に渡り、犬山新婦人の皆さまが生け花ボランティアを続けて下さっています。今年もメンバーの方々が庭で育てた沢山の草花を持参されて、利用者の生け花を手助けして下さいました。又、踊りの披露や歌、手遊びなど、ご利用者の皆さんと一緒に楽しんでくださる工夫もしていただきました。

音楽ボランティアの訪問も多く、スタッフの知人の方がサックス演奏で楽しませてくださったり、フルートやオカリナ、ウクレレと様々の楽器を駆使しながら沢山の曲を聞かせて下さる、『音楽集団ゆかいな仲間たち』も訪れてくださいました。

歌と共にフラダンスを披露して下さい下さる方々も訪問され、真夏の気分を味わいました。

愛くるしいワンちゃんも二匹来てくれました。セラピー訓練中のスタッフの愛犬ですが、利用者の皆さんは珍しい訪問に大喜びで、楽しい時間を過ごしました。

会員の方々や、今井あんきの家に関わった方から古タオルや古布が届き、ありがたく活用させていただきました。

(4) 見学者・研修生

2024年5月から9月迄、「高齢者の看護実習」として、尾北医師会立の尾北看護専門学校7グループ31名の看護学生を受け入れました。

9時から16時までの2日間ごとの実習でしたが、認知症高齢者との関わりが少ない学生たちでしたので真摯にとり組み、ご利用者の方々と良い関係を作る事ができました。

短期間であっても、充実し大きな学びがあった実習だったと、学生たちは感想をのべていました。

福祉学習のための城東中学校生徒が4名訪問されました。インタビュー形式で職員から介護を学ばれました。

イ、介護保険事業について

(1) 小規模多機能地域密着型サービス

① グループホーム(認知症対応型共同生活介護)

グループホームとは、高齢者が認知症になり自宅で過ごすことが難しくなっても、住み慣れた地域で暮らし続けることができるように支援する「地域密着型サービス」の一つです。

また、少人数での生活によって、同居している高齢者やスタッフと顔なじみになりやすく、利用者の不安感を防ぐことに繋がっています。さらに、日常の家事などを自分たちの力で行うことが、適度な刺激となり、認知症の進行を防ぐ効果があるとも言われています。

塔野地に移転して2年が経ち、定員は概ね満室です。最近ではグループホーム棟内でのご利用者さん同士の交流や行事も増やすことができ、また感染対策に気をつけながらご家族さんとの外出など状況に応じてできるようになってきました。

ご家族の希望があれば看取りまで対応しています。今年度は3名看取りまで対応しました。在宅往診(医療)や訪問看護(看護)と連携をとりながら、安心して過ごすことのできるグループホームを目指しています。

② 宅老所(小規模多機能型居宅介護)

自宅で過ごす事を基本に、「通所」「訪問」「宿泊」の3つを組み合わせご利用者を支援するサービスです。

最後まで自宅で暮らしたいという希望は多いですが、ご本人やご家族の負担はとても大きなものです。記憶力の衰えた高齢者、特に認知症のご利用者にとって、3つのサービスが同じスタッフから提供されるのは大きなメリットです。「いつものスタッフさんだね」と言って下さるご利用者も多いです。

2006年から小規模多機能型居宅介護のサービスをしてきましたが9月30日で閉鎖し、10月1日より看護小規模多機能型居宅介護として開業する運びとなりました。これを機に事業所名も、「宅老所今井あんきの家」から「あんきのカンタキ」へ変更しました。長年の馴染みのある“今井”の名称がなくなるのは淋しくもありますが、塔野地の地で心機一転 頑張っていきます。

③ 共用型デイサービス(共用型認知症対応型通所介護)

共用型デイサービスはグループホームで行う「通所サービス」で少人数の家庭的な環境の中で、個々に合わせた柔軟な支援を提供します。(3名/日) また、グループホームと共用スペースを活用したサービスのため、介護保険の自己負担額が他のデイサービスの約半分で利用できます。将来の入所に備え、入所待ちの間に環境に馴染んでおくことができ、スムーズな入所にもつながります。ここ数年は新型コロナウイルスの影響もあり、利用者を受け入れることが難しくなっていますが、希望者ができしだい営業します。

(2) 訪問看護ステーション

訪問看護は、グループホーム今井あんきの家が皆様の終の棲家となるべく、医療連携体制をとり医療処置が多く重症化していく利用者様ができるだけ穏やかにすごしていただけるように援助しています。また看取り介護のサポートができるよう介護スタッフのカンファレンスにも参加し介護・医療の連携が図れるようにしています。

看護小規模多機能型居宅介護に事業変更し、訪問看護が小規模と一体化しました。看護が必要な利用者様に訪問看護利用を承諾いただき開始しました。できるだけ長くお家で過ごしていただけるよう、介護スタッフとも連携を深めお家での介護や看護の充実を図れるようにサポートしていきます。

(3) あんき事業

今井あんきの家は介護保険事業以外に自主事業として、配食サービス、お出かけ同行サービス、今井の旧施設の活用などを行っています。

配食サービスとお出かけ同行サービスはNPO会員様限定のサービスとなります。配食サービスはお弁当を昼食時や夕食時にご自宅へ届けます。配食サービスの利用は増えてきています。その時に安否確認やちょっとしたお手伝いを行う事も可能です。お出かけ同行サービスは通院など家族での対応が困難な場合に宅老所の送迎車を利用してお手伝いします。

今井の旧施設の活用は、月に2回(第1.第3火曜日)「カフェ井戸端」を行っています。退職したスタッフや地域の方にボランティアで協力いただいて、お茶やおしゃべりを楽しんだり、ランチサービスも行っています。ランチは今井あんきの家の食事と同じ物を提供

していますので、施設でどんな食事を食べているか知りたい方は是非一度ご来所ください(ランチは要予約)。旧施設の再利用としては、今井小学校へ通うお子さんのご家族に貸し出したり、家の建替えの間の仮住まいとして提供しました。

犬山アイエエネルギー株式会社と協力して施設に併設した薪ボイラーも順調に運用しています。SDGs(持続可能な開発目標)に対応した再生可能エネルギーという事で見学に来る人もいます。季節によって薪を追加する量の変動し、管理が大変そうで、煙による苦情も一部見られましたが、その都度対応してもらい、お年寄りの入浴のお湯はすべてこのボイラーでまかっています。

ウ、各種会議の実施

(1) 総会・理事会

2023年度は、通常総会1回、定例理事会3回、を開催しました。

第26回通常総会 出席者50人(内委任状提出者17人)

日 時 2023年11月23日(木・祝) 13時30分～

場 所 犬山市民交流センターフロイデ 2F 多目的研修室1.2

第1回理事会 出席者 理事等11人

日 時 2023年11月14日(火)16時30分～

場 所 今井あんきの家

議 題 ①2023年6月～2023年9月利用者実績報告

②2022年度総会準備 会計報告

③看護小規模多機能型居宅介護への移行について

④その他

第2回理事会 出席者 理事等11人

日 時 2024年3月23日(土)16時30分～

場 所 今井あんきの家

議 題 ①2023年10月～2024年2月利用者実績報告

②看護小規模多機能型居宅介護への移行状況

③来年度の理事について

④ミャンマー人採用進行状況・派遣社員含む採用状況

⑤その他

第3回理事会 出席者 理事等11人

日時 2024年7月7日(日)9時～

場所 今井あんきの家

課題 ①2024年3月～2024年6月利用者実績報告

②看護小規模多機能型居宅介護サービスへの移行についてのご家族向け説明会の報告

③BCP(業務継続計画)訓練の報告

④ミャンマー人採用報告

⑤その他

(2) 運営会議

毎月第3金曜日午前中に定例化して開催しました。運営委員は代表理事と職員の代表10人で構成、月1回で年12回開催しました。

(3) 各事業所スタッフ会議兼内部研修等

新型コロナウイルス感染対策を厳守しながら、グループホーム、宅老所のスタッフ会議は12回開催しました。グループホーム2棟と小規模は同日で時間帯をずらし、それぞれで会議を開催しました。また各々の会議には、施設内部での研修を行い、専門的知識の取得に努めています。スタッフ会議前には各管理者が集まり、議題の確認と会議進行の円滑化をはかるための話し合いをしています。

(4) 地域密着型運営推進会議

運営推進会議は、法律で2ヶ月に1回の開催が義務づけられています。グループホームは第16回から第21回、小規模多機能型居宅介護は第103回から第108回とそれぞれが6回行いました。

犬山市高齢者支援課、城東地区高齢者あんしん相談センター、塔野地区長及び今井区長、今井老人クラブ会長、城東中学校区の民生委員の皆様、利用者のご家族様に議案を送付させていただき、新施設でのご利用者の生活状態やスタッフの対応の現状、コロナ対策、事故報告の結果などについて報告しました。

また、身体拘束防止委員会としての役割も兼ねており、現状の報告をしました。

令和6年から新たに、年2回、虐待防止委員会の開催が義務付

けられる事になりました。今井あんきの家では、第1回を令和6年1月、第2回を令和6年7月に開催し報告をしました。

身体拘束も虐待に関する事例も報告されていません。